

PM 2.5(微小粒子状物質)の測定結果

市では、追分1丁目(浜分地区学校プール南側)で大気中のPM 2.5(微小粒子状物質)の常時測定を行っています。

令和3年度1年間の測定結果は左記のとおりで、いずれも環境基準を下回っており、健康には影響のない数値となっています。

■高濃度時の注意喚起について

1日平均値が $70\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えると予想される場合には、午前7時30分頃または午後0時30分頃に、防災無線、市公式ホームページなどで注意喚起を行います。注意喚起の際は次の項目を行動の目安にしてください。

	1年平均値	1日平均値
北斗市測定結果	$5.6\mu\text{g}/\text{m}^3$	$14.0\mu\text{g}/\text{m}^3$
環境基準	$15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下	$35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下

①屋外での長時間の激しい運動や外出をできるだけ減らすようにしましょう。

②屋内でも換気や窓の開閉をできるだけ少なくするようにしましょう。

③呼吸器系や循環器系疾患のある方、小児、高齢者などのみなさんは、体調に応じてより慎重に行動するようにしましょう。

問 市役所環境課環境係

〔内線2622～265〕

山でのヒグマ・遭難事故を防ぐために



野山に春が訪れ、山菜採りなどを楽しむ季節になりました。この時期は冬眠明けのヒグマが活動を開始します。

ヒグマによる人身事故の多くは、山菜採りなどで山に入った際に不意に遭遇することで発生しています。ヒグマと遭遇しないために、また、遭難事故を防ぐために次のことに注意しましょう。

- 単独行動は絶対にしない。また、必ず家族にどこへ行くか伝えましょう。
- 帰り道が分からなくなった時のために、携帯電話や鏡、発煙筒などの連絡手段を必ず持って行きましょう。
- 目立つ格好をして、水や非常食を持って行くなど、万が一に備えましょう。
- 地元の人にヒグマの出没情報などを聞いておきましょう。
- 熊の注意喚起看板のある場所付近には絶対に入らないでください。
- 鈴やラジオ、笛など音の出るものを身につけて、人の存在を早めに知らせるような工夫をしましょう。
- ヒグマの足跡やフンを見つけたら、すぐに引き返しましょう。

問 市役所総務課交通防災係

〔内線212〕

問 総合分庁舎農林課農林係

☎77・8811 〔内線128〕

山火事の予防にご協力を

予防強調期間 4月10日～5月20日

雪解けとともに空気が乾燥し、山火事が起こりやすい季節になります。

春先やゴールデンウィーク時期になると、山菜採りやレクリエーションなどにより入山者が増え、たき火やたばこの不始末による人為的な火災が多く発生します。

次の点に注意して入山し、山火事を防ぐようにしましょう。

- 森林周辺でのごみ焼きや、枯草などが多い場所で、たき火をしない。
- 喫煙をされる方は、携帯用灰皿を携行し、吸いがらは必ず消し、投げ捨てしない。
- 火気を使用する場合は、周囲の可燃物の状況を十分確認し、消火用の水などを用意する。

問 総合分庁舎農林課農林係

☎77 - 8811 〔内線128〕

ドクガの毛虫にご注意を



ドクガの毛虫は体長2cm程度、黒色でオレンジ色の筋模様があり、イタドリ(ドンゲ)やハマナスを好んで食べます。毒針毛を持っており、皮膚に触れると激しいかゆみを伴う皮膚炎を発生します。

毛虫の被害を避けるために、むやみに空き地などの草むらに立ち入らないようにしてください。万が一毛虫に接触してしまった場合は、テープなどで毒針毛を除去し、流水で洗い流しましょう。症状がひどい場合は、すぐ病院の診察を受けましょう。

駆除は毛虫がまだ小さい時期が効果的ですので、空き地などの所有者は、なるべく早い時期に草刈、毛虫駆除を行うなど、管理を徹底されるようお願いいたします。

問 市役所環境課環境係 〔内線262～265〕